

フォーミュラ1や高機能バイクに採用されている  
レスポンスに優れた素材!

圧倒のスピード!

鋭い打球音とクリアな打球感を  
モジュールしたテキストリームが  
スピード革命をもたらす!!

1970年代にリリースされ、今でも根強く支持されている「プリンス・グラファイト」。ハイパワーの異端児的存在のデカラケ。このラケットが「名器」と呼ばれるようになったのは、それまでウッドやアルミが主流だったラケットに「グラファイト」という新素材を持ち込んだことが大きな要因であった。そのグラファイト独特の打球感がトッププロから一般ユーザーまで好まれただけでなく、飛びが格段に良くなり軽量化も可能になったため、現在主流の「ラケットヘッドを返してスピンをかける」という新しいプレースタイルに変換させた「名器」でもあるのだ。

そうして、テニス界をリードする存在になったプリンスはその後、「ロングボディ」、「トリプルスレット」、「O<sup>3</sup>」と目に見える構造のテクノロジーにこだわった開発を続けてきたが、この度、再び素材に注目。「テキストリーム」というフォーミュラ1のレーシングカー、高機能バイク、アメリカズカップのヨットにも採用されているカーボンを使ったラケットをリリースする。

スウェーデンの会社で開発されたテキストリームは、「純度が高く、薄い、強い、軽いカーボン」として注目されており、一般的なカーボンが、数千本のカーボン繊維からなるカーボン原糸をカーボンシートに加工する際に、原糸を結合さ

せる接着剤としてエポキシと呼ばれる樹脂を多く必要とするのに対し、テキストリームは数千本のカーボン繊維を2cm幅に薄く均一に広げてリボン状の原糸とした後に、このリボンを織って作ったカーボンシートで、エポキシ樹脂を多く必要としない。その結果、テキストリームは振動減衰率が一般的なカーボンと比較して高く、振れが少ないのが特徴だ。

そこでプリンスは、このテキストリームをフェース下部からシャフト全体に使用することで、インパクト情報を速く的確に伝え、余計なロスや振動がない、パワーとスピードがアップするラケットの開発に成功した。

一般的に、飛びや振動吸収が2%改善されると、ほとんどの人が「これは違う」と実感できるという。それを踏まえるとシャフト部にテキストリームを採用するとRA(注※)を上げずに最大17.6%の高剛性化、8%振動減衰できる。プリンスの新ラケットは最高のレスポンスを発揮し、誰もが「スピードアップ」と「クリアな打球感と高打球音」を体感できるはず。

かつて「グラファイト」でテニスシーンに大きな変化をもたらしたプリンス。今度はこの「テキストリーム」でスピードという分野からテニス界の新たな扉を開くことになる!

注※ RA=ラケットのシャフトの硬さを表す数値

テキストリームカーボン



従来のカーボン



断面図が扁平の開繊糸を使用しているため、従来のカーボンより薄くても強度が高く、織物表面の凹凸が少ないため、編み込んだ時に強度が強くなる。さらに、従来のカーボンよりも少ない接着剤で編み込めるため、同じ強度でも軽い。